

福島町議会議員の評価

評価期間：平成21年1月～平成22年3月

評価の分類：○＝「ほぼ満足」　△＝「努力が必要」　▲＝「さらに努力が必要」

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
議長（渡島西部広域事務組合議会議長） 総務教育常任委員会委員	31	溝部幸基	62

評価項目	具体的な項目	評価	
		取組み評価	結果の評価
1. 行政分野の取り組み	・「町づくり基本条例」の目的達成に向けての活動推進	△	▲
	・行政情報の公開・共有の積極的推進	△	▲
	・広域行政の連携推進	▲	▲
	・行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託、時間差出勤等)	△	▲
	・行政への不当要求防止対策(行政との適切な対応)	○	▲
	・防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等)	△	▲
	・市町村設置型浄化槽方式の推進(綾部市視察)	○	▲
2. 財政分野の取り組み	・財政健全化の取組み(機構改革・職員定数管理、財政計画、国保税改正、新規政策形成過程明確化→計画精度向上を提言)	△	▲
	・退職手当制度の抜本的改善	△	▲
	・補助金の抜本的見直し提言	△	▲
	・議長交際費の削減(飲食会費、負担金の自己負担等)	○	○
3. 経済分野の取り組み	・新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
	・「福島ブランド」の開発(異業種連携等による)	△	▲
	・地球温暖化対策の提言(リサイクル・生ごみ堆肥化促進、森林整備等)	△	▲
	・インターネット販売(地場産品)の推進(HPの積極的活用等)	△	▲
	・イカごろの活用(水産関係者と意見交換、処理施設の調査)	△	△
4. 福祉分野の取り組み	・「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	△
	・予防医療の推進	△	△
	・在宅介護支援体制の整備	△	△
5. 教育分野の取り組み	・幼児教育問題(少子化対策に関する懇談会、認定こども園研修参加等)への提言	△	△
	・子どもや高齢者が参加する幅広い生涯学習の推進	▲	▲
	・「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	▲	▲
	・社会教育施設の利用促進	△	▲
	・学校給食をとおして、食育・地産地消の推進	△	▲

6. その他の取り組み	・町民が参画できる議会の実現(議会基本条例の周知)	△	△
	・わかりやすく、すみやかに説明が出来る議会の実現	△	△
	・活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
	・政策的な提案のできる議会の実現(総合計画への提言)	△	△
	・町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	・個人ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	▲	▲
	・議会ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	▲	△
	・議事録公開のスピードアップ	△	△
	・情報収集と研修参加	△	△
	・議会、議員活動の評価システム導入	△	△
	・インターネットでの議会公開	△	△
	・出前議会の開催	△	▲
	・シンポジウム(パネラー・講演)への出講(市町村アカデミー議会事務局職員研修出講・自治体問題研究所講演他3件)	○	○
	・視察の受け入れ対応(湯河原町、大仙市等48市町村議会等)	○	○
	・各種行事等への参加(114件)、実活動日数(284日)	○	○